

Vories
cure&care



ヴォーリス
だより

発行 毎月 1日
発行者
ヴォーリス記念病院
三ツ浪 健一
近江八幡市北之庄町492
TEL (0748) 32-5211
印刷
(有) 東呉竹堂 (ひがし印刷)

病院ホームページアドレス
<http://www.vories.or.jp/>

2017年(平成29年)10月1日 第124号

いざというときに慌てない！ 災害看護の心得とは

看護部長 岡田 幸子



猛暑から、秋らしさを感じる過ごしやすい季節となりました。

今年も「救急の日」各地で救急訓練や災害対策への取り組みが実践されました。

1995年阪神大震災、2011年東日本大震災そして昨年起きた熊本地震とそれぞれ大きな被害に言葉を失い自然災害の恐ろしさを痛感いたしました。また、広域複合災害や異常気象からくる局地的自然災害の増加やテロや人災が頻発し、「災害対策」という言葉を耳にする機会も多く、私たちは常に災害の危機の中で生活していると実感させられます。しかし「ここは大丈夫」「私は大丈夫」という思い込みを持っていることも事実です。

昼夜問わず患者を支える医療現場においては、人事ではなく「もしもの災害時患者を守れるだろうか」という不安を持ち緊張感の中、看護を行っていることも現実です。日本看護協会においては、「災害支援ナース」育成・登録を推進し、災害発生時支援活動を行っています。当里においても2名の災害支援ナースを登録しており、1名は熊本地震発生時支援活動に参加してくれました。

そこで今回は、「災害」にまつわる看護の役割について述べてみたいと思います。

まず、組織においては、日頃から非常時を想定した組織の機能を止めないための指揮管理やマニュアル整備・見直しが前提で不可欠です。それは、災害が起こる前段階の(想定内)の視点、つまりこれは「リスク」防災対策のことです。それをうまく進めるためには常にハザード分析をしておくことが重要で、当院の対象状況を踏まえた分析に基づき、情報の整備、避難経路や避難所の策定、緊急物資の備蓄や災害情報管理システムの維持・管理・災害時の組織としてのマネジメント、また近隣との相互協力体制を作り機能させていくことを平時より進めていくことが求められます。一方で「クライシス」(想定外)という不測の事態や難局に実際陥った時、まさに災害が起こった時の対応状況・判断・行動として考えておく必要があります。まさに災害発生時には、患者の一番近くにいる看護師の勇気と直感と経験に研ぎ澄まされた判断と行動、そして「巧みな創造力と想像力」が“患者を守る”といっても過言ではないと思います。私たち看護職は、リスクとクライシスを踏まえ「今ここで災害が発生したら」「ライフラインが途絶えたら」「使えるものが使えなかったら」「他者(患者)の命・自分の命を守るには」を時々シュミレーションしながら「あらかじめの備えの看護」を意識することが必要なのだと感じます。加えて、人々の健康と暮らしを支援する大きな役割を担う看護職には、災害がもたらす身体的問題だけでなく、精神的健康にも十分配慮し被災後のストレスケアを担い、心のよりどころとなる存在としてサポートできる力が求められています。災害看護の在り方は「治療だけでなく、広く人々の健康と暮らしを支援する役目をもっている」と考えています。

「災害時」と言っても、想定は未定でありハザードもさまざまです。まさに“いざというときに慌てない！”ために、常に看護の専門職者として情報処理能力と判断能力を携え、災害時対応の基本となる考えは「日常の地域づくり」であることも念頭に組織内外を俯瞰し、リスク・クライシスマネジメントしていく気持ちで取り組んでまいりたいと思います。

**敷地内全面禁煙です。
皆様のご理解とご協力をお願いいたします。**

今
月
の
聖
句

「神は聖なる宮にいます」

旧約聖書 詩編 68篇6節

チャプレン 安部 勉



日本各地に「神社」があり、そこには「神さま」があられます。神社は「神さまとの出会いの場」と言ってもいいのかもしれません。

キリスト教、その歴史に繋がるユダヤ教、イスラム教はそれぞれ「聖地」とよばれる場所があります。イスラム教の皆さんはメッカに向かって礼拝を捧げます。決まりでは一日に5回、祈りの時を持ちます。遠くに離れていても「聖地」に向き、祈ることを通して神さまとのつながりをいつも考えていると言えます。

ユダヤ教は「神殿」がありました。「神さまと出会う神聖な場」です。しかし、長い歴史の中で「神殿」も戦乱によってなくなってしまいました。しかし、神殿の城壁跡に人々は詣でて多くのユダヤ人の方たちが祈りを熱心に今も捧げています。

今月の聖句、詩編の作者は「神は聖なる宮にいます。」と歌います。きっとこの詩に共感させる人たちは具体的な神殿、そして神殿を通して「神との出会い」に憧れと救い、罪の赦しを願っていたことでしょう。

ではその宮で出会う神さまとは？詩編の作者は次のように歌います。

「みなしごの父となり やもめの訴えを取り上げてくださる。神は孤独な人に身を寄せる家を与え 捕われ人を導

き出して清い所に住ませてくださる」

戦乱の中、また戦後に歌われた詩なののでしょうか。多くの民が戦闘でいのち奪われ、その家族たちの悲しみや苦しみを目の当たりにしていたのでしょうか。

「神は聖なる宮にいます」

この詩は単に「神さまのいるところ」を伝えようとしたのではないでしょう。戦乱によって家族を奪われた悲しみの中にある子どもたちや女性に向かって「あなたたちを見捨てる神ではない」と訴え、その神がわたしたちの「聖なる」場におられるのだ、と訴えたのでしょうか。

聖書を通して示される「神さま」は時に弱く小さな者の悲しみや苦しみを受け止め、慰めを注ぐ方として描かれます。

イエス様は「神さまは共におられる」と私たちに示してくださいました。私たちが神殿に詣でて出会うのではなく神さまご自身が私たちに会ってくださっている、と。

教会は神さまの注がれる「聖霊」によって建てられたと信じています。意味するところは神さまの「住まい」ということではなく、神さまの働きを通して人々が「集められ」「神さまを讃える」場としてあるのです。そして今に至るまで「神さまは私たちと共におられます」と人々に告知知らせるためにあるのです。

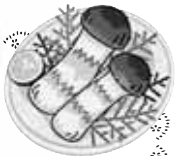


ヘルシークッキング 10月



松茸御飯

「松茸」



エネルギー 270kcal タンパク質 5.3g 脂質 0.7g 塩分0.6g (1人分)

<材料 (3合分)>

- ・米 3合
- ・松茸 2本
- 【A (下味)】
- ・酒 大さじ1/2
- ・濃口醤油 大さじ1/2
- 【B (だし汁)】
- ・水 3カップ
- ・昆布 (10cm角ほど) 1枚
- 【C】
- ・酒 大さじ1
- ・薄口醤油 大さじ1
- ・塩 少々



(作り方)

- ①米は1時間前にといでざるに上げ、昆布は水に30分つけて取り出す。
- ②まつたけはさっと洗って、かたく絞ったふきんで汚れをふき取り、石突の先を包丁でそぎ落としてから、繊維にそって薄切りにする。【A】をふりかけて下味をつける。
- ③炊飯器に①の米と【B】のだし汁、【C】、②のまつたけを下味の調味料ごと入れ炊く。



厳しい残暑も終わり秋が深まろうとしています。これからは食欲の秋の到来ですね。秋の食材と言えば秋刀魚や栗など美味しい食材が色々あります。その中でも「秋の味覚の王様」と言われる松茸。その芳醇な香りや旨味は古くから日本人に親しまれてきました。松茸は高価な食材ではありますが最近では中国産や韓国産など比較的安価に入手できるようになりました。しかし、国内産は毎年高くなかなか購入しにくいご家庭も多いのではないのでしょうか？なぜ国内産はこんなに高いのでしょうか？

これにはいくつかの松茸特有の理由があります。

一つは他のキノコと違い人工栽培ができない点が挙げられます。そのため、松茸は自然に発生したものを収穫する方法しかありません。天然物に頼るため値段が高騰します。

もう一つの理由は収穫量の減少にあります。松茸の流通量は昭和初期で6000トンあったのが、2010年には140トンまで減少しています。その昔は松の葉や不要な枝が燃料や肥料として使われていたため、自然と人の手が入り、松茸の生育に適した環境が作られていました。しかし、今では人の手が入らなくなったため、松枯れが多発し収穫量も減少してきています。

また、開発により松茸の生育に適した樹齢の高い赤松や松林が減ってきていることも原因の一つです。

便利で豊かな暮らしに発展する中で、古きよき日本の味覚が減少していることは寂しく思えます。暮らしの発展だけでなく、自然環境の保存にも目を向けていきたいですね。今回はこんな松茸を使った松茸御飯を紹介させて頂きました。日本の自然の恵みに感謝しつつ秋の味覚を楽しみましょう。

つら

ヴォーリス記念病院 創立100周年に向けて

当院は今から99年前の5月、「近江療養院」という結核療養所として開設しました。来年で100周年を迎えます。近江八幡の地で100年という月日、地域の皆さんに基督教の理念に基づき医療や介護、福祉の働きを担って来ました。来年の100周年に向けてこのコーナーでは病院に関連するトピックをご紹介します。

「療養所文化」

第7回

チャプレン 安部 勉

「正月早々降雪があって、蒲生平野は銀世界となり、素晴らしい眺めを楽しむことが出来た。そんな寒い日でも、結核治療の鉄則で新鮮な空気を吸うべく、病室の一方の窓は解放されていた。勿論、身体は冷えないように湯タンポは入れていたが、幸に風邪をひくようなこともなく病状は快方に向かいつつあった。正月早々原田牧師のすすめで、バルトのロマ書の研究会がひらかれることになり、これに参加することになる。」

2011年10月「健康文化」という冊子に「わが闘病記（4）」と題して長崎大学名誉教授の岡島俊三先生が「近江療養院」で過ごしたエピソードを執筆されました。

昭和15年、日本では皇紀2600年を祝う年でした。東京オリンピック開催の年でもありました。（戦況悪化のため返上）

冒頭はそのエピソードの一場面。19歳だった岡島先生は身体の療養だけでなく当時のチャプレンだった原田信夫牧師と当時ドイツで基督教世界に大きな影響を与えた神学者の著書を読んでいたことが記されていました。

当時の療養所の環境、特に精神面に於いて学問への取り組みは大学と変わらない文化的な環境であったことが伺えるエピソードです。

なお、原田信夫牧師はご自身も「近江療養院」で結核の治療を受け、後に信仰を得て牧師となり、当院のチャプレンに就任されました。また日本で先駆的な神学者でもありました。



健康について

ホスピス病棟 中村 昭美

現代社会において「健康」に対する考え方、取り組み方は個人によって様々であると思います。私の考える「健康」とはなんだろう…と今回、少し考えてみました。私は運動が苦手です。しかし、子供の頃から生活の中に歩く習慣はありましたので、今でも何かの折には歩くよう心掛けています。天気の良い日に琵琶湖岸をのんびり歩くと、すがすがしい気持ちになります。

また、気持ちの上でも公私の区切りをきちんとつ

けて、休みの日には思う存分自分自身を解放されることも大切です。楽しい予定が入っている休みを充実して過ごすことは、最高の心の栄養になるでしょう。しかしその一方、何も予定のない日であるからこそ「何もなかったけれど、のんびりできて良かったかな…」と、気負わず自然体で過ごせること、感じられることも大切だと思います。



〈～褥瘡（2）～〉 紹介①

褥瘡対策委員会 医師 北野晴久

「褥瘡」の発生について、全号で説明しましたが、では、「褥瘡」に対する治療とはどのようなものでしょうか。

近年、日本で増えている疾患としては、「褥瘡」以外に、「癌」が思い浮かぶと思います。しかし、「癌」と違って、「褥瘡」に関する医療は、非常に遅れています。褥瘡の新薬は、もう登場することはないと言われているほどです。これは、「褥瘡」が日本人特有の疾患だからです。

欧米諸国では、寝たきりの高齢者が少なく、例えば、長期ケア施設入所者（65歳以上）のうち寝たきり状態の割合は、スウェーデンでは4.2%ですが、日本では33.8%と、スウェーデンの8倍も多いのです。また、最先端医療を担う大学附属病院や大規模な病院に入院するような患者さんには、褥瘡のあるような患者さんは少なく、なかなか「褥瘡」の医療は前に進みませんでした。そこで、当院のような中規模病院の医師、看護師や薬

剤師、理学療法士等の多職種の医療関係者や医用工学研究者が集まって、1998年に日本褥瘡学会が設立され、褥瘡に対する医療が整備されました。十数年前では、「褥瘡は治らない」と考えられておりましたが、今では、「褥瘡は治る疾患」に変わってきました。

褥瘡の治療に用いる外用薬は、抗生物質が含まれたものではなく、皮下組織や皮膚の再生を誘導する外用薬を用いてキズの治癒を促進し、治療を進めるのが基本で、それに加えて、ドレッシング剤や、除圧するためのクッション材などを組み合わせて行うことが一般です。当院では、日本褥瘡学会が推奨している最新の治療法や予防法を採用していて、医師・看護師・薬剤師・理学療法士・栄養士で構成された褥瘡ケアチームで、褥瘡の治療にあたっております。

「褥瘡」で悩まれている患者さんが、身近にいらっしゃいましたら、いつでもご相談ください。

〈多剤耐性菌による感染症について〉 紹介②

院内感染防止対策委員会 医師 奥野貴史

昨今、テレビや新聞で報道されている、多剤耐性菌について触れてみようと思います。

① 多剤耐性菌

多剤耐性菌と言われて思い浮かぶのはMRSA（メチシリン耐性ブドウ球菌）だと思います。10年、20年前は“院内感染だ”、と大騒ぎになりましたが、今はどうでしょう？

当院でもMRSA感染症を発症する患者さんはやはりおられます。バンコマイシンやリネゾリドなどこの菌にしか使わない特効薬があり、ガイドラインに沿って治療をすれば大概是改善しますし、当院でも院内感染として広がらないよう不断の努力をしています。

② CREの登場

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌の略称です。大腸菌、エンテロバクター、肺炎桿菌が三大原因菌と言われています。

一つ目の問題点は重症化するとかなり厄介な菌であること。CREが血液中に侵入して敗血症を起こした場合、CREが産生するエンドトキシンで、ショックや多臓器不全を誘発し、症状の

重篤化、予後の悪化に繋がり、半数が死亡すると言われていています。困ったことに決まった特効薬はありません。検査結果を検討し抗生物質を慎重に検討するしかありません。

二つ目の問題点は大腸内に生息する菌ということ。もともと腸内細菌を構成する菌ですので、CREによる感染症が無事治まったとしても、おそらくその患者さんの腸の中に一生住み続けます。発症する患者さんの多くは高齢、全臥床状態でおむつを必要としている傾向があります。CREをもつ患者さんのおむつの処理に不備がおけると、たちまち周囲の患者さんに広がっていくことに、誰もが危惧することでしょう。

③ まとめ

我々は何も恐れてはいません。病院全体で環境整備をし、標準感染予防、接触感染予防対策に細心の注意を払い、院内感染の制御に取り組んでいます。今していることを、更に確実に行うことでCREも必ず対処できます。すぐそこにCREは迫ってきています。職員一致団結して対処していきます。

報告1

友愛の家 夏祭りを終えて

友愛の家ヴォーリスが開設して早や3カ月が過ぎました。

年間行事の中で最大のイベント、夏祭りを8月23日の



友愛の家ヴォーリス 中江 広美

夕方17時半から20時まで開催しました。

利用者様、家族様をはじめ、病院職員、また、北之庄町の地域の方々やたくさんの子供たちが来てくださり、とてもにぎやかな夏祭りとなりました。

模擬店では、焼きそば、フランクフルト、ジュース、ゼリー、ヨーヨーつりを行い、イベントでは、くじ、花火を楽しみました。盆踊りを予定していましたが、場所が確保できず残念でした。夏祭りまでの準備で、利用者様にちょうちん、うちわを作成していただき、当日には、女性利用者様には浴衣を着ていただき夏祭りらしくなり楽しかったです。

終了後アンケートを行い来年に活かしたいと思います。

最後に、多くの病院スタッフの方々、ボランティアさんにも手伝っていただき感謝しています。本当にありがとうございました。

報告2

ミャンマーからのお客様来訪

チャプレン 安部 勉

さる9月5日、大阪にあります淀川キリスト教病院より責任役員のモーア宣教師ご夫妻とミャンマーにあります「アガペー病院」事務長ピアさんが当院に研修のため来訪されました。淀川キリスト教病院は海外協力の一環としてミャンマーにあります「アガペー病院」の働きに医師を派遣するなど交流を深めておられます。

当日はヴォーリス記念館に於いて近江兄弟社の歴史、また近隣のヴォーリス建築の見学、当院に於いてはリハビリテーションセンター、「友愛の家」などを視察され、澤谷事務長よりヴォーリス「里」構想についての説明をしてもらいました。

ミャンマーは150以上の民族で構成され、それぞれ言語も違い保険制度もない中で、キリスト教理念にたった

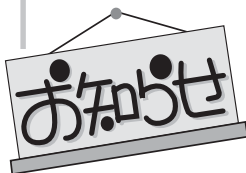
病院の働きが支えられるよう関心を寄せたいと願います。当院が100年前、アメリカのクリスチャンの皆さんの祈りと献金で支えられたように。



報告3 第253回 ミュージックタイム

さる2017年8月26日、「第253回 ミュージックタイム」を3病棟で開催いたしました。今回は山本さんご夫妻のピアノとフルートの演奏でした。お二人は2月に岡山の牛窓に転居されましたが当院のミュージックタイムを大切にしてくださいました。20年以上毎年来ていただいています。本当にありがとうございます。



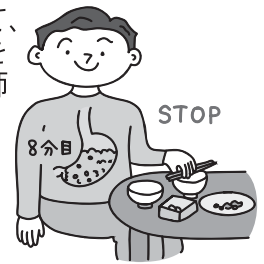


▶ 糖尿病及び生活習慣病教室のお知らせ

シリーズで月に一度、木曜日に糖尿病、生活習慣病に関して、実際の食事をご用意し、病気の知識や治療法についての教室を開きます。詳しくは管理栄養士か外来看護師あるいは担当医師にお尋ねください。

日 時 10月26日(木) 12:00~13:30 場 所 新館研修室(病院内)
講 師 理学療法士

主治医の指示のもとに参加できますが、あらかじめお申し込みが必要です。



近江八幡市介護予防拠点事業

ヴォーリス介護予防教室のご案内(平成29年度)

開催日程表

回	日 程	内 容	担当・講師
4	11月16日(木) 14:00~16:00	「あたまの体操」	ヴォーリス老健センター 作業療法士 野澤 幸江 氏
5	2月22日(木) 14:00~16:00	「ひとり暮らしでも 最期まで我が家で」	訪問看護ステーションヴォーリス 在宅看護専門看護師 田村 恵 氏

- ①対象者 おおむね65歳以上の方 定員：30名
- ②場 所 アンドリュース記念館(旧Y M C A会館)
近江八幡市為心町中31番地(近江八幡教会の隣)
- ③参加費 無料
- ④申し込み 4回目11月14日(火)までに往復ハガキで
①住所 ②氏名 ③年齢 ④連絡先電話を
記入の上、下記の係りまでお申し込み下さい。

〒523-0806 近江八幡市北之庄町492
ヴォーリス記念病院内 介護予防教室係 まで
お問い合わせは、ヴォーリス記念病院内
ホームヘルパーステーション
担当 田井中
(Tel 32-7130 Fax 36-5458) まで

患者支援センター

患者様やご家族様に住み慣れた生活の場で、安心して療養し生活を
送って頂けるようサポートします!!

- ・健康保険、介護保険等の社会保障制度について
- ・在宅での生活、介護についての不安
- ・施設の入所や利用について
- ・地域の病院・開業医の皆様からの受診・入院依頼
...等

お気軽にご相談ください!

TEL (0748) 32-5211 (代)
FAX (0748) 36-5412 (直)
E-mail info@vories.or.jp (代)

※センターは正面玄関入って左側でございます。

お知らせ

ヴォーリスいのちのケア講演会

会 場：ヴォーリス学園平和礼拝堂

(住所) 滋賀県近江八幡市市井町177

ヴォーリス学園本館5階

(アクセス) 琵琶湖線「近江八幡駅」から近江バス

(長命寺・休暇村・市内循環行き)

「ヴォーリス学園前」下車

※駐車場台数に限りがありますので、できるだけ
公共交通機関をご利用下さい。

平成29年
11/12(日)
開演14:00
(開場13:30)

入場料：500円

(当日会場で申し受けます。)

■ 第1部

- ・コンサート 演奏：よし笛 近藤 ゆみ子氏
- ・スライド上映「ホスピス希望館10年のあゆみ」

■ 第2部

- ・記念講演
「ヴォーリスホスピスが取り組むいのちのケア」
演者：ヴォーリス記念病院 ホスピス長 細井 順氏



▶ お申し込みは、FAX、またはE-mailでのお申し込みになります。

受付は10月1日(日)からです。

当院ホームページからFAX用紙をダウンロードし、必要事項をご記入ください。

又は、FAX申し込み用紙が病院にございます。

FAX：0748-32-2152

HP：http://www.vories.or.jp

E-mail：kikaku-1@vories.or.jp

<お問い合わせ> ヴォーリスいのちのケア講演会実行委員会

TEL：0748-32-5211(代表)

担 当：ヴォーリス記念病院 西山・永福